

第357回三木市議会臨時会 市長 閉会あいさつ

令和2年5月15日

閉会に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

議員の皆さまにおかれましては、公私何かとご多用のなか、終始ご精励を賜り、ありがとうございました。

おかげをもちまして、このたびの市議会に提案いたしました議案につきまして、適切なるご決定を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

ここで、前回4月28日の臨時会でご承認をいただいた新型コロナウイルス対策予算の執行の状況につきまして、その主なものを2点、この場をお借りして説明させていただきます。

まず、市独自の支援として、今お困りの中小企業、個人事業主の事業継続に対する総額1億5千万円の給付金制度につきましては、連休明けの5月7日から申請受付を開始しており、5月19日から順次、振り込みを開始します。

また、市民お一人当たり10万円の国の特別定額給付金につきましては、オンラインでの申請は5月1日から受付を開始、

一方、郵送での申請につきましては、昨日14日から世帯主の皆さまへ手続きに係る申請書の発送を開始し、本日中に発送を完了する見込みです。この申請書を市に返送していただき約1～2週間、早い方で5月中にはご指定の口座へ振り込みができるよう、全力を挙げて対応してまいります。

さて、本会の冒頭でも申しましたが、昨日、政府により緊急事態宣言の解除・緩和が行われました。しかしながら、兵庫県を含む8都道府県については、依然、特定警戒都道府県として引き続きの自粛要請等が続きます。

これを受けた兵庫県では、新規感染者数や重症病床の空き状況などを軸に、休業や外出自粛要請を一部緩和できる県の独自基準を公表しました。

県内では、新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査の実施件数に占める陽性患者割合を示す「陽性率」は、4週連続で減少しており、4月第2週のピーク時の5分の1以下まで低下しております。また、新規感染者数につきましても、直近1週間平均は5人以下の推移で減少傾向が続いています。

とりわけ、本市を含む北播磨地域では、4月12日を最後に、1か月以上新たな感染者はない状況です。

市民の皆さまのご協力を得て、着実に成果をあげつつある状況であると言えます。感謝を申し上げます。

しかしながら、新規感染者数については、約2週間前の状況を反映するとされており、専門家からは「連休後の1～2週間の取組が重要」と、いまだ気を引き締めなければならない状況下にあることが指摘されており、今がまさに正念場であります。

そこで、この後、第20回目となる新型コロナウイルス対策本部会議を開き、本市の今後の対応について協議する予定としており、決まった内容につきましては、記者発表や市のホームページ等で、市民の皆さまへお知らせいたします。

また、国の第2次補正予算の動向にも注視しつつ、国の支援制度を補完するべく、市として必要な、新たな独自支援についても考えてまいります。

市民の皆さまには、引き続き「三つの密」の回避、手洗い・咳エチケットの徹底と、今しばらくのご辛抱をお願いします。

最後になりましたが、本会期中におきまして、正副議長をはじめとする議会役員を選出等が行われ、新しい陣容のもとに、市政の進展と市民福祉の向上にお力添えを賜ることとなりました。

新役員の方々のご活躍を心からお祈り申し上げまして、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。